

## 銀座街づくり会議

〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目6-1 銀座三和ビル3F

PHONE: 03-3567-1535 ● FAX: 03-3563-0236 ● <http://www.ginza-machidukuri.jp>

● このNEWS LETTERは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています  
● 本誌の内容を、許可なく無断で複写・複製および転用・転載することを禁じます

銀座には広場はありませんが、快適で個性的な通り空間があります。また、新たな開発のなかで地域貢献としての公共空間づくりがすすんでいます。しかし日本では「公共空間」のイメージが貧困で制約も多く、何もできない空間となりがちです。銀座の通りやちょっとしたオープンスペース、建物内の空間をもっと街全体にとって魅力的に使うことができるのではないのでしょうか。

銀座街づくり会議では、「都市空間の活用」をテーマに、続けて3回のシンポジウムを開催しました。バルセロナ、サンフランシスコ、そして丸の内などの事例をお聞きし、銀座をもっと魅力的にするにはどうすればよいかを考えました。また、慶應義塾大学の学生たちが、銀座でのイベントや商業、広告のありかたを調査しました。



銀座街づくり会議シンポジウム

## 都市空間の活用



### 「街を生き生きさせる空間利用」

第1回シンポジウムで岡部明子さんのお話は大きく2つのテーマがありました。ひとつは、公共空間を一つの資産と考えたとすれば、その資産をどうマネジメントしていくかという問題です。具体的には、公共資産にはどういう収入が入ってきて支出があるのでしょうか。たとえば、銀座通りという空間も、一般的には道路面（国の所有）と両側の建物（オーナーの所有）で構成されていると考えますが、その間の空間も、都市の共通の資産と考えられるのではないのでしょうか。であれば、建物ファサードばかりでなく、そこに出される広告、駐車される車も公共空間を利用しているということになります。

そしてもうひとつのテーマは、公共空間こそが都市発展の源泉である、というお話でした。現代の知識情報化社会においては、公共空間こそが都市を経済的にも文化的にも発展させていく源泉であり、工業化社会における工場のような役割を果たすのです。

続いて倉田直道さんからは、アメリカやヨーロッパでどんなふうに公共空間をつくり、使い、イキイキとした魅力を生み出しているかの事例などが話されました。

2月19日(金) 16時～18時 銀座会議室

「ヨーロッパの公共空間」岡部明子（千葉大学准教授）

「街を生き生きさせる空間利用」

岡部明子・倉田直道（工学院大学教授）

司会・小林博人（慶應義塾大学准教授・銀座街づくり会議）

### 「文化とまちづくり」

第2回のシンポジウムでは、高木茂さんが「街のにぎわいー文化とまちづくり」と題して、お話しくださいました。

丸の内周辺では、大手町・丸の内・有楽町地域をひとつにとらえ、地元地権者組織である「大丸有再開発計画推進協議会」や「まちづくり懇談会」を設立して、計画的な建て替え（ハード）による街の再生ばかりでなく、かつてはビジネス街であった丸の内周辺を商業地へと変え、文化的イベントを生み出し、広告や環境をマネジメントするなど、さまざまな人間の活動の場へと変えてきました。その基本となる考え方と経緯をわかりやすくお話しくささいました。

また、まちづくりは地域内だけで考えがちですが、行政の区切りを超えて、周辺地域と一体になって考えていくことが大切です。これを機に、銀座と丸の内の交流をはかっていくことができそうです。

3月8日(月) 14時～16時 文祥堂イベントホール

「街のにぎわい、文化とまちづくり」

高木茂（三菱地所（株）取締役相談役）

司会・小林博人

### 「銀座微文化」

そして第3回では、慶應義塾大学小林博人研究室の学生さんたちが、銀座の通りごと、地区ごとに少しずつ異なる文化性を、イベント、商業構成、広告というテーマに分けて、街歩き調査を通して研究し発表しました。

3月29日(月) 13時半～15時半

文祥堂イベントホール

「銀座微文化ーイベント・商業構成・広告

からみる銀座固有の文化へのアプローチ」

慶應義塾大学小林博人研究室、岡本哲志

DVDの貸出が可能です。ご希望の方はご連絡ください。当日の議事録は作成中です。完成はHPでお知らせします。